JBR

決算説明資料　2019年9月期2Q

2019年5月10日
ジャパンベストレスキューシステム株式会社

目次

①2019年9月期 2Q決算報告

②2019年9月期 業績見通し

③TOPICS

④補足資料

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

①2019年9月期 2Q決算報告

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

業績ハイライト

JBR JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

売上高 前年同期比　＋204百万円（103.5%）

営業利益 前年同期比　＋87百万円（113.4%）

－営業利益率　前年同期比　+1.1pt

当期純利益 前年同期比　＋448百万円（179.4%）

－2019年9月期2Q　破産更生債権の貸倒確定に伴う税務上の損金計上により法人税が減額

（単位：百万円）

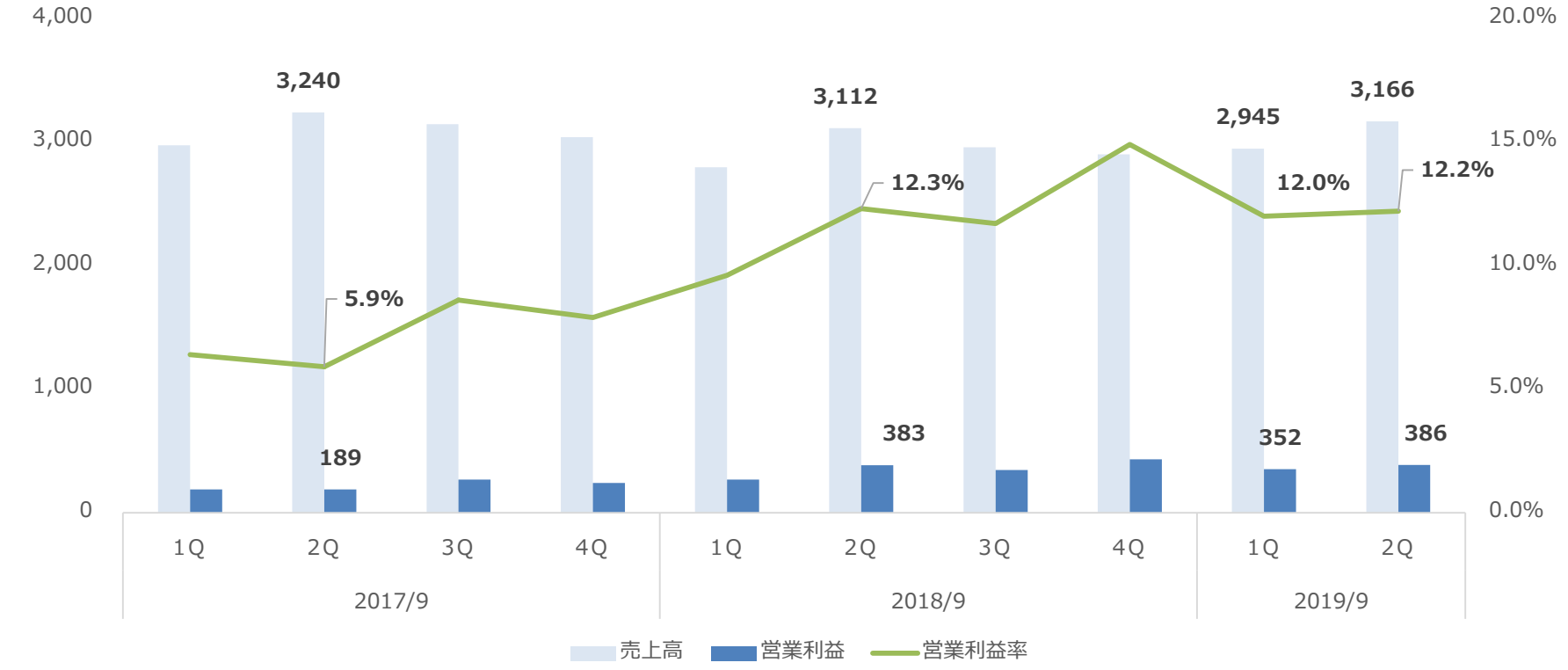
	2018年9月期 2Q累計	対売上比	2019年9月期 2Q累計	対売上比	前年同期比	
					差異	増減比
売上高	5,907	-	6,111	-	204	103.5%
売上原価	3,128	53.0%	3,292	53.9%	164	105.2%
売上総利益	2,779	47.0%	2,819	46.1%	40	101.4%
販売費及び一般管理費	2,127	36.0%	2,080	34.0%	△ 47	97.8%
営業利益	651	11.0%	738	**12.1%**	87	113.4%
経常利益	730	12.4%	878	14.4%	148	120.3%
当期純利益	564	9.5%	1,012	**16.6%**	448	179.4%

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

売上・営業利益推移表

– 入学・就職・転勤シーズンにおいて、会員事業・保険事業の売上が増加
– 前期２Ｑと比較して、dリビングの利益が減少するものの、
　会員事業における不動産賃貸会員・住宅設備保証会員サービスが増益を牽引

（単位：百万円）



Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

セグメント別売上高・営業利益

駆けつけ －タウンページからの入電が減少し施工数減少

会員 －主に不動産賃貸向けの会員と住宅設備機器の保証会員が増加
－採算が悪化していたdリビングは2019年5月末でサービス終了

保険 －売上増加に伴い、原価に計上される責任準備金繰入が増加

（単位：百万円）

	2018年9月期 2Q累計		2019年9月期 2Q累計		前年同期比			
					売上高		営業利益	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	差異	増減比	差異	増減比
駆けつけ	895	74	795	76	△ 99	88.9%	2	103.6%
会員	3,039	671	3,237	714	197	106.5%	43	106.3%
少額短期保険	1,773	163	1,926	160	153	108.6%	△ 3	98.0%
リペア	232	△ 26	179	△ 28	△ 52	77.4%	△ 2	-
(調整額)	△ 33	△ 231	△ 27	△ 183	5	-	48	-
合計	5,907	651	6,111	738	204	103.5%	87	113.4%

※調整額の増益は、2019年9月期より人事関連の費用を各セグメントに配賦していること等によるもの

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

連結貸借対照表

JBR JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

資産 －投資有価証券の増加　+920百万円

負債 －資本提携等に向けた調達のため社債を発行　+1,500百万円

その他 －破産更生債権の貸倒が確定、繰越欠損金が発生し税効果が継続

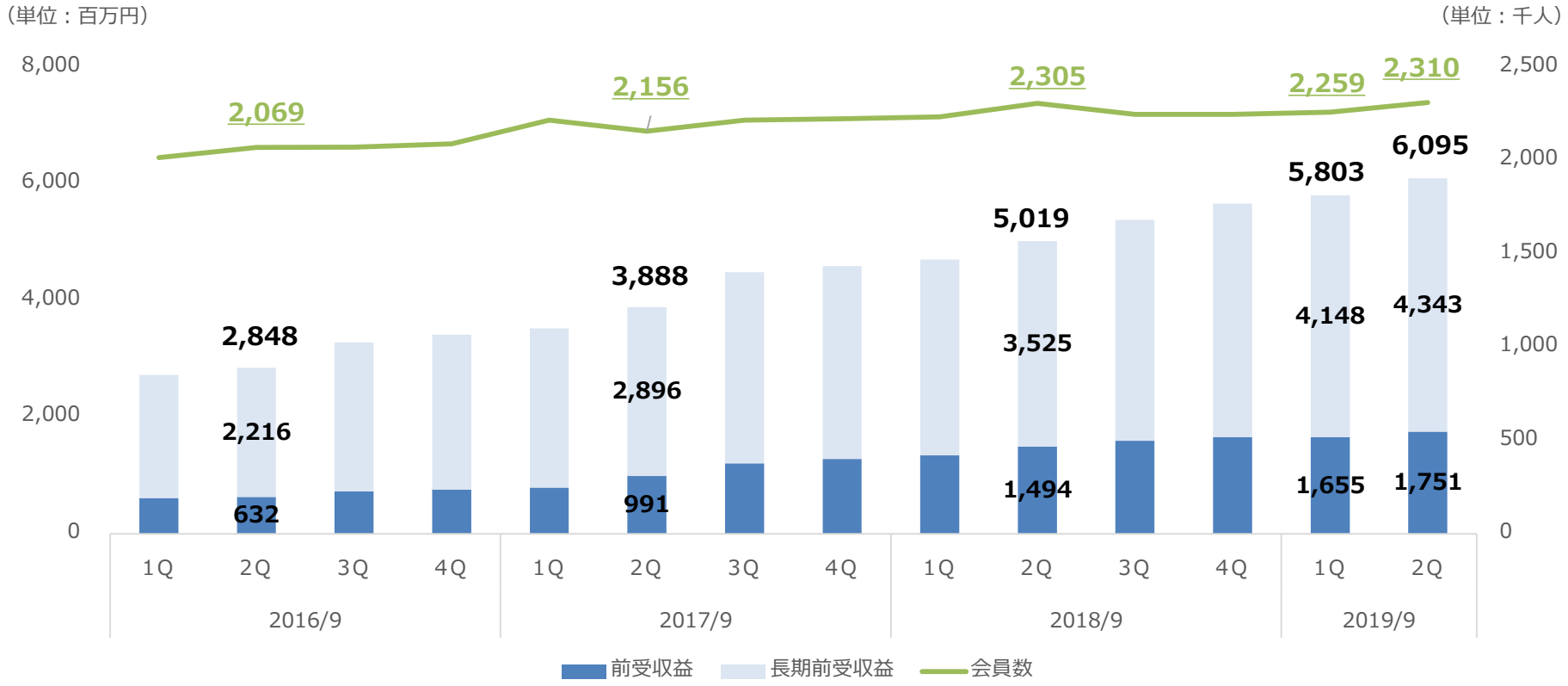
（単位：百万円）

＜資産＞				＜負債・純資産＞			
	2018年9月期 期末	2019年9月期 2Q末	増減比		2018年9月期 期末	2019年9月期 2Q末	増減比
流動資産	9,551	10,626	111.3%	流動負債	4,615	4,816	104.4%
現預金	7,756	8,737	112.6%	**前受収益**	**1,658**	**1,751**	105.6%
固定資産	5,313	6,838	128.7%	会員引当金	153	151	98.7%
有形固定資産	136	129	94.9%	責任準備金	585	595	101.7%
無形固定資産	473	464	98.1%	固定負債	4,207	5,732	136.2%
投資有価証券	3,716	4,636	124.8%	社債	-	1,290	-
破産更生債権	1,383	0	0.0%	**長期前受収益**	**4,003**	**4,343**	108.5%
貸倒引当金	△ 1,480	△ 97	-	純資産合計	6,042	6,926	114.6%
資産合計	14,865	17,475	117.6%	負債・純資産合計	14,865	17,475	117.6%

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

前受収益の積み上げ

– 将来の売上・利益となる前受収益と長期前受収益が引き続き増加
　合計で6,095百万円　(前期2Q比　+1,075百万円)
– 最大10年の長期保証となる安心修理サポート会員が増加したため、
　長期前受収益が増加

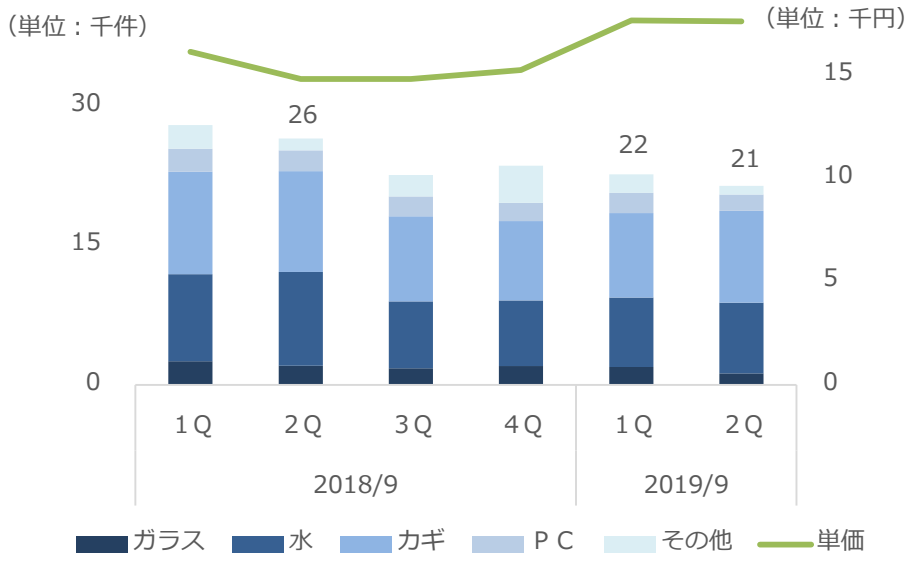


Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

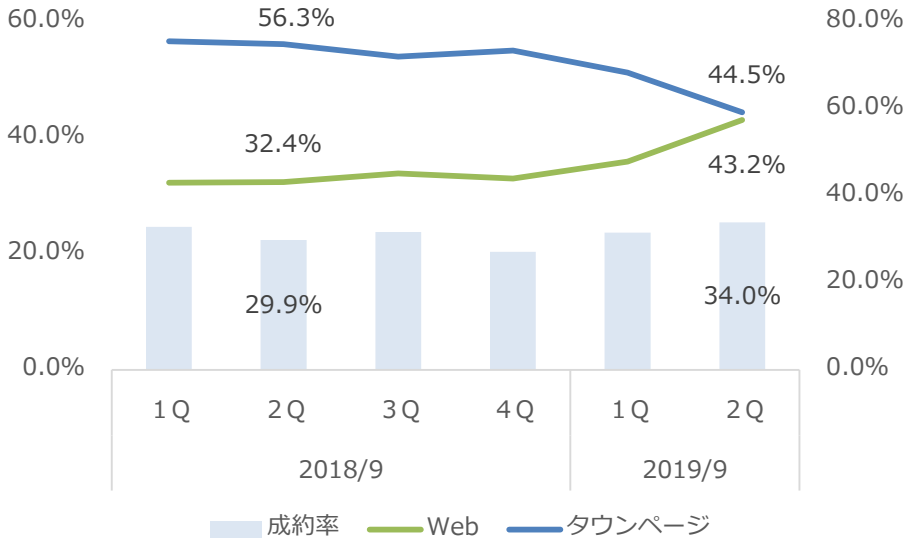
生活救急車データ

– タウンページからの入電減少に伴い作業件数が減少
– 単価の高い案件(雨漏り等)の施工が続いたことからJBR手数料単価は高止まり
– 旗艦サイトのSEO対策が奏功し、Webからの申込比率が拡大

作業対応件数+JBR手数料単価



集客媒体別作業割合+成約率



JBRの作業を行っていただく加盟店・協力店については2019年9月期より契約形態・制度を変更
2019年9月期2Q末　パートナー・ネットワーク契約件数：2,033件

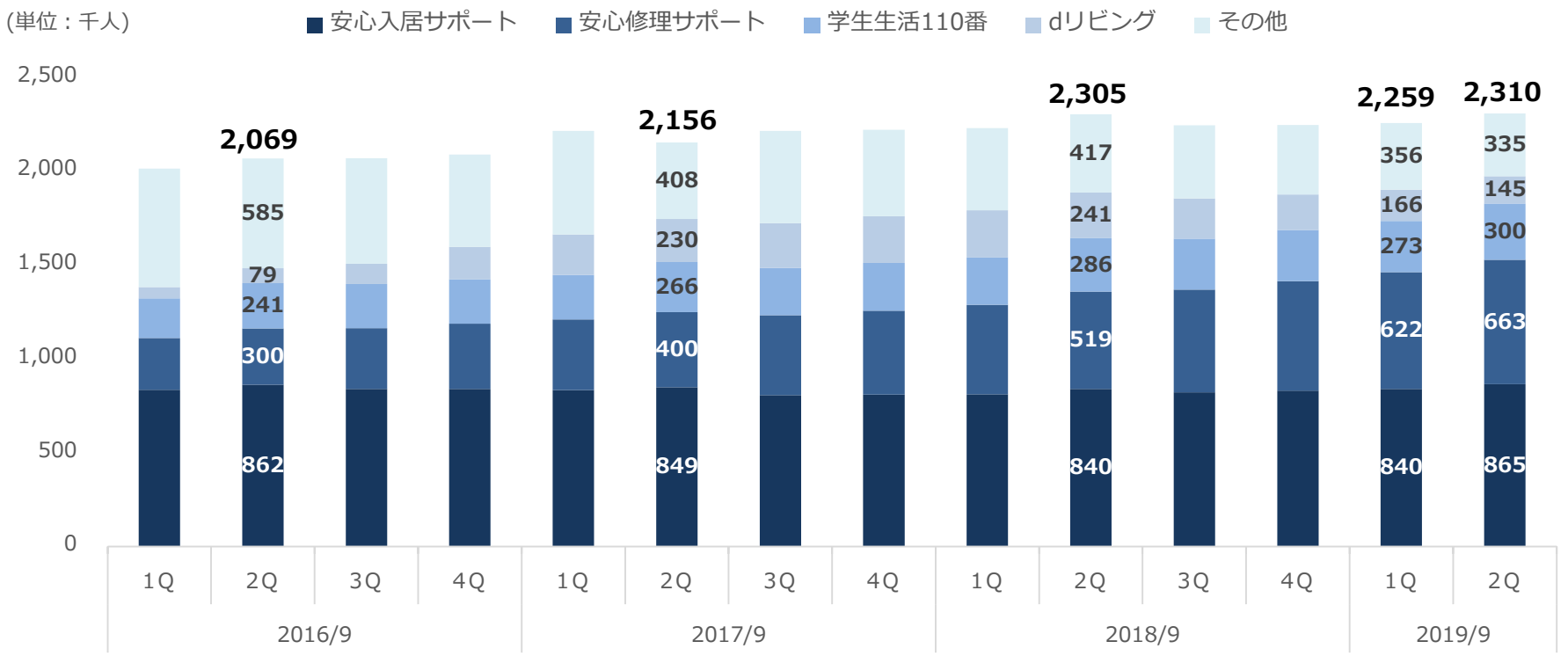
Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

会員データ

JBR JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

－会員数　　2,310千人
－注力している、住宅設備機器の延長保証会員「安心修理サポート」、賃貸入居時のトラブル解決「安心入居サポート」、大学生向け「学生生活110番」の会員数が順調に伸長
－dリビングはサービス終了に向けて会員数が漸減

商品別会員数

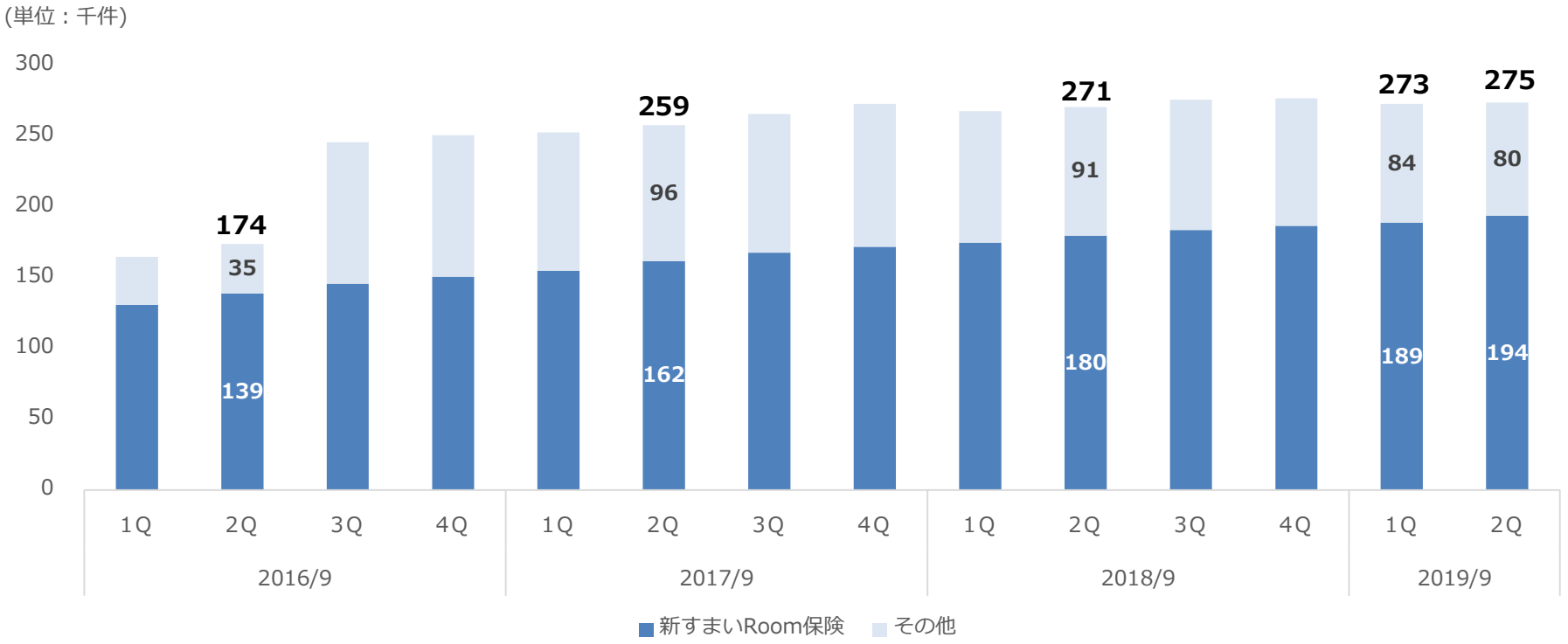


Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

少額短期保険データ

－保険契約件数　　275千件
－主力の「新すまいＲｏｏｍ保険」の契約数は引き続き堅調に増加　+5千件

保険契約件数の推移



Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

②2019年9月期　業績見通し

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

業績見通しの修正(2019年5月8日開示)

JBR JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

－売上高・営業利益・経常利益は、概ね順調に推移
－当期純利益は、破産更生債権の貸倒が確定し、税務上の損金を計上した結果、法人税が減額となり、大幅に当初予想を上回る進捗

2019年９月期 通期業績予想の修正

当期純利益について、前述の通り欠損金が発生し、法人税が減額されることから、1,600百万円(当初予想から27.0%増)に修正

※2020年9月期以降も繰越欠損金による税効果が継続する見込み

（単位：百万円）

	2019/9期	2019/9期	当初見通し比		2018/9期	前期実績比	
	当初見通し	修正見通し	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	12,800	12,800	0	100.0%	11,766	1,034	108.8%
営業利益	1,650	1,650	0	100.0%	1,430	220	115.4%
経常利益	1,800	1,800	0	100.0%	1,644	156	109.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,260	1,600	340	127.0%	1,192	408	134.2%

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

2019年9月期　各事業の取り組み

駆けつけ事業	**WEB集客に注力** Googleのアルゴリズム変更により評価が上昇中。引き続きユーザーに有益なコンテンツを充実させた良質なサイト運用に注力し、Webからの入電増加を図る
会員事業	**新規提携先の獲得を推進** ハウスメーカー・不動産賃貸業者を中心とした既存提携業種の提携拡大に加えて、新業種との提携先も開拓し、引き続き会員数の増加を図る **需要や市場環境に応じたサービスを拡大** 入管法改正に伴う外国人労働者の増加やLPガス市場における有資格者によるコールセンターなど、ビジネスチャンスを捉えた展開を加速
保険事業	**損害保険業の免許取得に向けた準備会社設立** 損害保険会社と少額短期保険会社の特性を活かした商品開発を行い、お客様や提携先のニーズに対応することでさらなる成長を目指す
リペア事業	**業務の効率化を推進し、今期中に黒字化を目指す** 引き続き技術力を活かした高単価案件の受注を増やす一方で、業務の効率化を推進し早期黒字化を目指す

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

③TOPICS

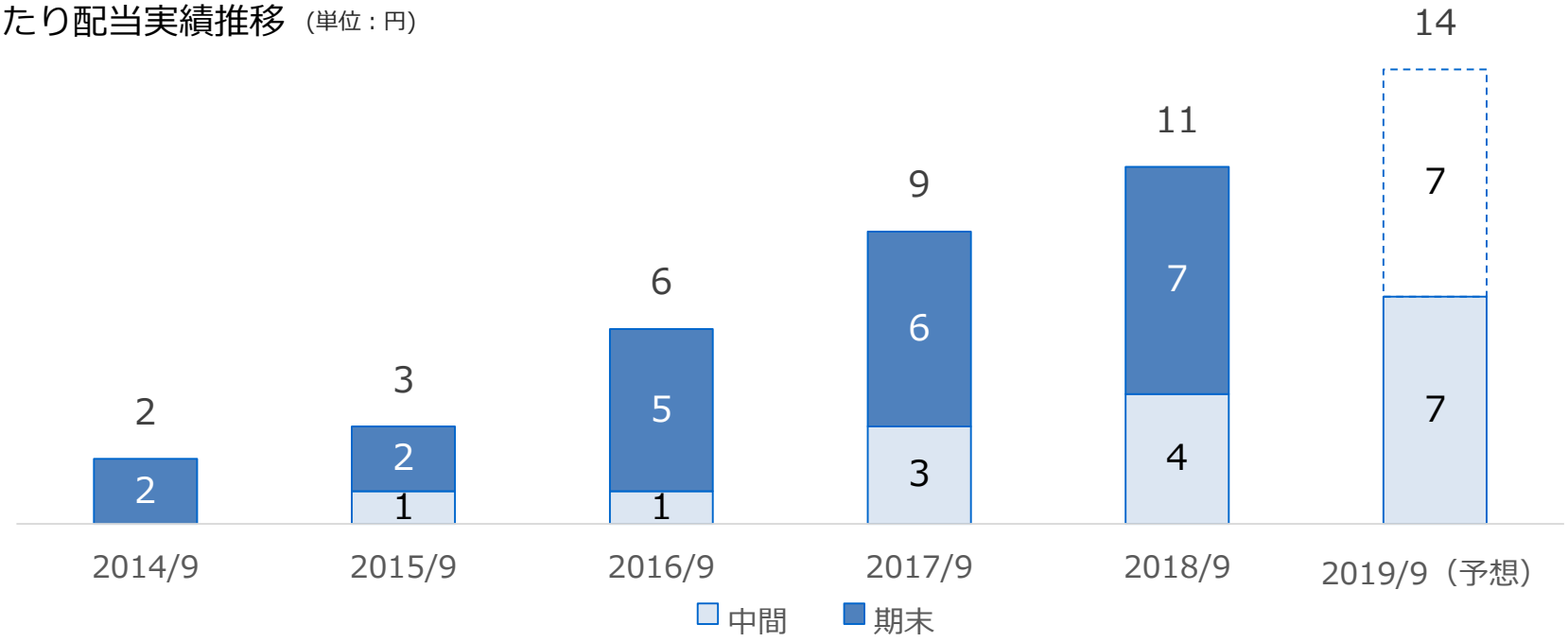
Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

株主還元

中間配当を前期４円から 今期７円に増配

株主還元方針	当社は、利益配分を経営の最重要課題として位置付け、長期的な視野に立ち、企業発展に努め、安定的配当を継続することを基本としている。また、連結配当性向30%以上を目標としている。
株主優待	保有株数に関係なく、全ての株主様に当社がオフィシャルスポンサーであるキッザニアの優待券を1枚贈呈。 株主優待詳細：https://www.jbr.co.jp/ir_info/shareholder/

一株あたり配当実績推移 (単位：円)



Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

損害保険会社の設立準備開始

４月２２日開催の取締役会において、損害保険会社設立の準備開始を決議。
保険事業において、少額短期保険会社・損害保険会社それぞれの利点を活かし、
商品設計・展開の幅を広げて、更なる規模拡大を目指す。

	少額短期保険会社 (ジャパン少額短期保険)	**損害保険会社** (ジャパン設立準備会社)
参入規制	財務局による登録制	金融庁による免許制
商品開発・審査	届出制	認可制
保険金額の上限	10,000千円以下	特に上限なし
年間収受保険料	50億円以下	特に上限なし
保険契約期間	1年以内 (損保分野については2年以内)	特に上限なし
その他規制	資産運用は預貯金等に限る	最低資本金額10億円以上
展開方針	商品開発の早さ・柔軟性を活かし、世の中に無い新たな保険商品でマーケットを開拓	保険設計の各上限が無いため、資本提携先等の新商品開発要望に対応して展開を拡大

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

働き方改革の推進

全社員対象の研修制度 (2019年1月～)	部署や職種によって、研修の充実度にばらつきが生じていたことから、全社員を対象とした研修制度を導入。 社員のステージに合った研修を回数を気にすることなく受けることができ、研修予約・報告から上長フィードバックまでをシステム化することにより、社員の能力・知識・マネジメント力の底上げを図り、仕事の幅の拡大や業務効率の向上を目指す。
時差出勤の導入 (2019年4月～)	社員がより働きやすい環境を整備するため、勤務時間を3パターンから選択できる時差出勤制度を導入。 育児・介護や習い事など社員それぞれのプライベートの充実に加え、外部要因や業務都合で生じていた残業を抑制することが可能。
リファラル採用制度 (2019年4月～)	社員の人的ネットワークを活用して人選するリファラル採用を導入。 売り手市場が進む環境において、社員の元同僚や友人・知人といった人的ネットワークを通じて候補者を集めることにより、転職を考えている優秀な求職潜在層と適性・希望の合致度の高い選考が可能となる。また、通常の採用に比べて採用コストが抑えられる。

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

④補足資料

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

当社のご紹介

商号	ジャパンベストレスキューシステム株式会社
設立	1997年2月
本社	名古屋市中区錦一丁目10番20号　アーバンネット伏見ビル
東京本部	東京都千代田区大手町二丁目1番1号　野村ビル
役員	代表取締役　榊原　暢宏 取締役　若月　光博　　取締役（社外）白石　徳生 取締役（社外）　岩村　豊正　　取締役（社外）須藤　裕昭 常勤監査役　澤田　正勝　　監査役（社外）吉岡　徹郎 監査役（社外）　小菅　豊清　　監査役（社外）森島　康雄
従業員数	連結：217名　単体：181名　※2018年9月末時点　正社員のみ
資本金	7億80百万円
上場市場	東証一部(2007年9月上場) ・ 名証一部(2007年11月上場)

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

沿革

JBR JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

創業期 → 拡大期 → 再編期 → 第2創業期

1999年8月 現社名へ変更

2005年8月 マザーズ上場

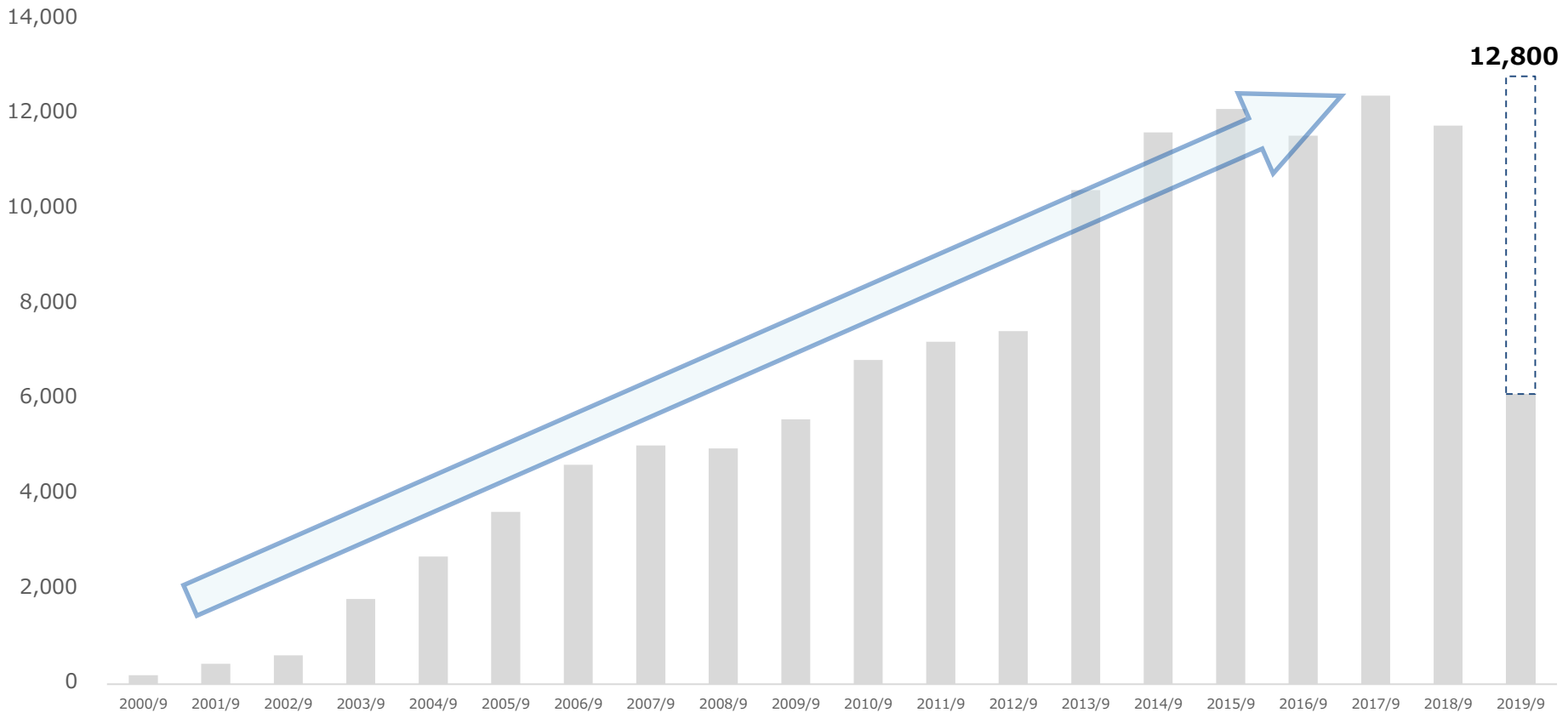
2007年9月 東証一部上場

2008年10月 ジャパン少短買収

2015年10月 グループ再編

2016年10月 中期計画始動

（単位：百万円）

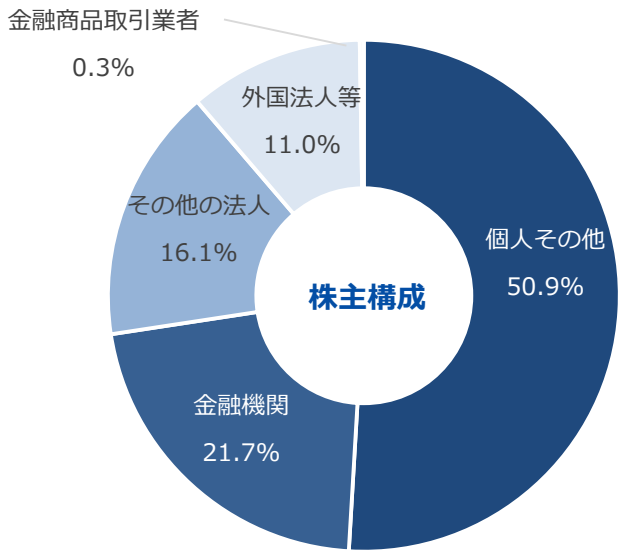


Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

株式関連データ(2019年3月末時点)

主要データ

発行済株式総数	34,688,000株
株主数	6,794名
時価総額	52,656百万円
自己資本比率	39.5%

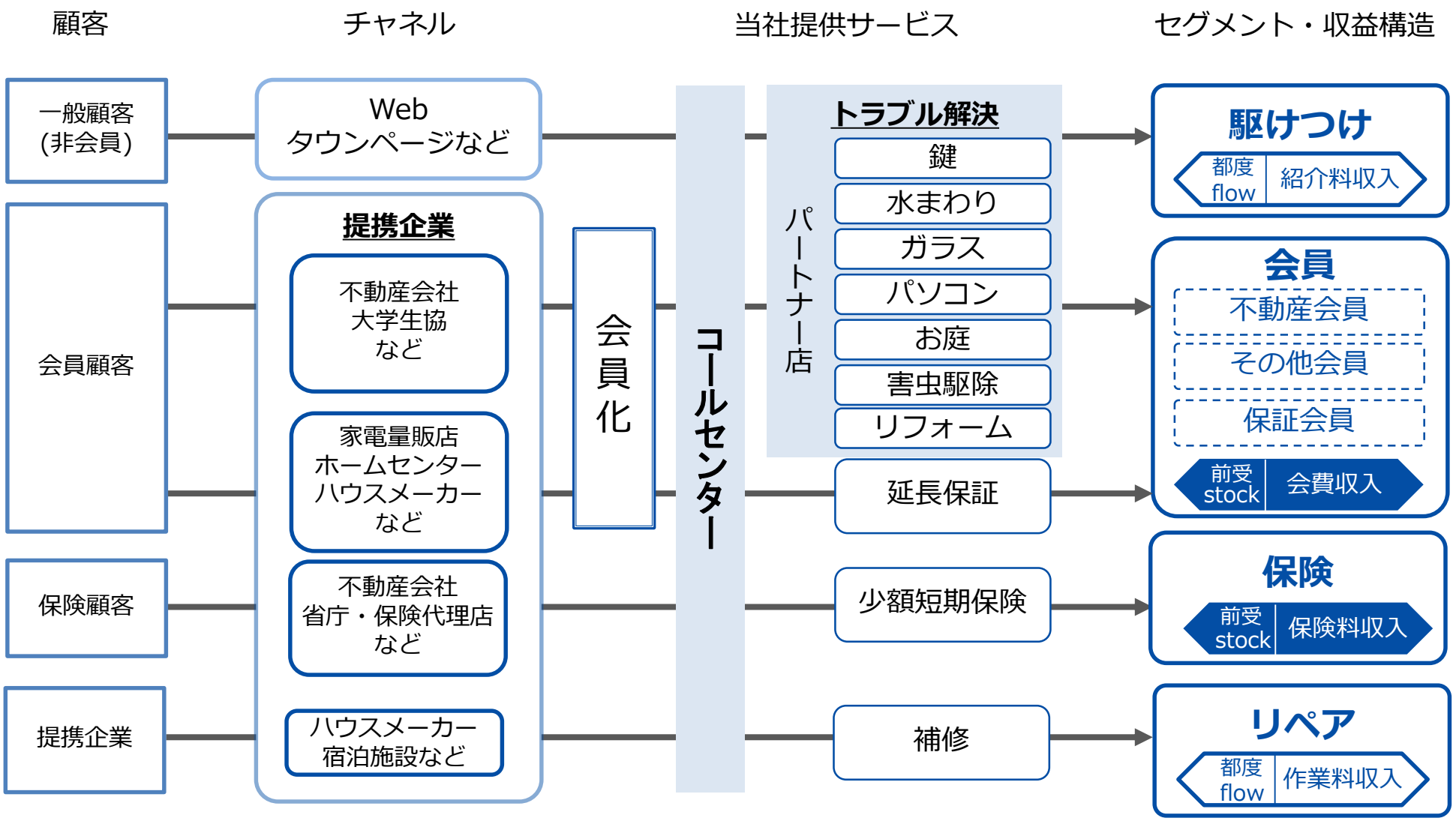


大株主上位（株数・比率）

1	榊原暢宏	11,292,300	32.55%
2	ジャパンベストレスキューシステム株式会社	3,263,341	9.40%
3	株式会社光通信	3,101,600	8.94%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,038,900	8.76%
5	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,801,773	5.19%
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	1,118,800	3.22%
7	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,105,800	3.18%
8	住友不動産株式会社	1,000,700	2.88%
9	資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	692,500	1.99%
10	株式会社ブロードピーク	490,100	1.41%

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

ビジネスモデル



Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

出資先ベンチャーのご紹介

各視点における当社事業の強化及び出資先企業の成長支援に資する出資を実行

販路拡大

ジモティー

WWS

CaCal

Sunrefre Holdings
株式会社サンリフレホールディングス

空き家活用株式会社

付加価値

soeasy

Real estate Platform Laboratory

Switch★Smile

TOUMEI
(2019年4月上場)

業務効率化

LASTONEMILE

GlobalCast Co.,Ltd.
Impression & Thanks

Inet Support Inc.
株式会社アイネットサポート

技術力

GMO FINANCIAL GATE

Cleandevice Technology
クリーンデバイス・テクノロジー株式会社

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.

「困っている人を助ける！」

JBR

私たちは「困っている人を助ける！」企業活動を通じて
より多くの“ありがとう”という感動をお届けします。

注意事項

本資料で記述している業績予想や将来の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素が含まれています。そのため、実際の成果や業績等は記載の予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料・IR問い合わせ先：経営企画室　竹内
TEL：052-212-9908　　E-mail：ir@jbr.co.jp

Copyright (C) 2019 JAPAN BEST RESCUE SYSTEM All Rights Reserved.